

科目名	食品分析化学 I	学年	類型・コース	単位数
		2年	総合選択 C2・工業(バイオとかがく)	2単位
学習の目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。			
教科書	主たる教材：自作プリント 副教材：なし			
評価法	定期考查や小テスト、提出物の内容、授業に対する取り組みや意欲を総合的に評価する。			
評価観点の趣旨	a 知識・技術	薬品を分析するための基礎知識や化学反応を理解しているかを定期考查や小テストなどで確認します。		
	b 思考・判断・表現	反応や分析方法を多角的にを考え、説明できるかを授業での発表や反応、レポート、定期考查などで確認します。		
	c 主体的に学習に取り組む態度	授業での発表や反応、理解を深めるノートやレポート、追加課題の考查への出題などで主体的に取り組んだかを確認します。		
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。				

期	月	時数	学習項目・单元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1 学期	4月	6	元素、単位	元素と元素の性質について基本知識。 原子量とモルの計算、単位操作。	中間 小テスト 期末 考査	中間 考査	発表 ノート 課題 振り 返り
	5月	8	イオン反応	無機イオン、無機化合物の命名法。 イオン反応式の組み立て。			
	6月	8	濃度、pH	溶液の性質と濃度計算。 酸・塩基の性質。水素イオン濃度と pH。			
	7月	4	沈殿反応 まとめ	溶解度と沈殿生成。沈殿生成反応と分析。 1学期のまとめと振り返り。			
夏休み							
2 学期	9月	8	化学平衡 反応速度	化学平衡と反応速度。分析方法。 水質試験。大気・土壤試験。	中間 小テスト 期末 考査	中間 考査	発表 ノート 課題 振り 返り
	10月	8	定性反応	陽イオンと陰イオンの定性反応。 沈殿生成反応とイオンの関係。			
	11月	8	中和滴定	容量分析の標準液の調製と食品や医薬品の定量方法。滴定方法と計算。			
	12月	4	分析計算 まとめ	ファクター計算と含有量の計算。 2学期のまとめと振り返り。			
冬休み							
3 学期	1月	6	沈殿滴定	容量分析の標準液の調製と食品や医薬品の定量方法。滴定方法と計算。	小テ スト 期末 考査	発表 ノート 課題 振り 返り	発表 ノート 課題 振り 返り
	2月	6	酸化還元滴定	容量分析の標準液の調製と食品や医薬品の定量方法。滴定方法と計算。			
	3月	4	他の分析 まとめ	他の分析方の原理と方法。 3学期のまとめと振り返り。			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
化学式やイオンを組み立てて、イオン反応式や化学反応式を書けるように基礎から学んでいきます。 それを基に食品や医薬品の成分の分析に応用していきます。